

「大きく育て」。青空の下で願いを込めながら植樹する家族連れの参加者



広葉樹の苗木を植え、豊かな海に思いをはせる児童

# 森から 応援

第23回森は海の恋人植樹祭は5日、一関市室根町の矢越山ひこぼえの森で開かれた。海よ甦れ森は海の永遠の恋人、信じよう！集う仲間、心と海にひこぼえを「スローガン」に、

**一関・室根**

北海道から沖縄県まで全国から約1200人が参加。津波で大きな被害を受けた気仙沼市の漁師らが広葉樹の苗木千本に東日本大震災の犠牲者鎮魂と復興を祈願し、深緑の森から海の復興の第一歩を高らかに宣言した。

## 植樹祭に全国1200人 1本1本に願い込めて

同市の漁師でつくる牡蠣の森を育つ会（畠山重篤代表）、一関市室根町第12区自治会（三浦幹夫会長）が主催。開会式で三浦会長が「植樹祭は私たちの宝。被災地復興の願いを若い苗木に託したい」とあいさつ。畠山代表が「海の豊かさとともに暮らしてきた漁師らは



復興祈願のアズサを植え、笑顔を見せる畠山重篤代表（右）と三浦幹夫会長（左）

海を恨んでいない。植樹祭をばねに生活を立て直したい」と決意を述べた。畠山代表、三浦会長らが漁船の櫓の原料になるアズサなどを植え、復興祈願のシンボルとした。

参加者は約350人にナラ、ミズナラなどの苗木を植え、山と海の絆に思いを寄せた。室根西小6年の小山愛理沙さんは「この植樹祭で海との関わりが分かった。復興のお手伝いもしたい」と被災地を思いやる。

植樹は1989年に室根山で開始。気仙沼湾に注ぐ大川上流部の山に魚介類の栄養につながる広葉樹を植え豊かな海を育む。自然保護や生態系保全の重要性も訴えている。

(2011年6月6日付・岩手日報21面)

# 「海の○○」育て30年

## 一関・室根 過去最多1600人植樹 規模拡大、継続へ誓い

一関市室根町の矢越山（519㍎）ひこぼえの森で3日、第30回森は海の恋人植樹祭が開かれた。1989（平成元）年に始まり、「平成最後」の植樹祭となった今回は全国各地から過去最多の約1600人が参加。青空の下、参加者は豊かな海を育む森の形成に思いを一つにした。

地元の室根第12区自治会 員阿部裕太さん（23）は「魚（三浦幹夫会長）と気仙沼など海の恵みをもたらして市の牡蠣の森を育つ会（畠山重篤代表）が主催。参加者は30分ほどかけ山の7合目付近まで登り、大漁旗のため斜面約50㍎にミズナラやコナラなど約25種類、1600本の苗木を植えた。

一関市大東町摺沢の会社 模も大きくなり、地域の宝

として今後も継続していきたい」と意気込み、畠山代表（74）は「東日本大震災の年も地元の協力で継続できた。植樹を続けてきたことが力キの養殖の早期復興につながった」と感謝を込めた。

麓で水車まわりも開かれ、地元の農産物販売や気仙沼市産力キの振る舞い、ステージ発表が繰り広げられ、住民らと交流を深めた。

植樹祭は今回で延べ約2万2千人が参加し、同山には約5万本、17・9杉植樹

(2018年6月4日付・岩手日報22面)



恋人=こいびと、一関市室根町=いちのせきしむろねちょう、矢越山=やごしやま、  
永遠=えいえん、集う=つどう、仲間=なかま、北海道=ほっかいどう、  
沖縄県=おきなわけん、参加=さんか、津波=つなみ、被害=ひがい、  
気仙沼市=けせんぬまし、漁師=りょうし、広葉樹=こうようじゅ、苗木=なえぎ、  
東日本大震災=ひがしにほんだいしんさい、犠牲者=ぎせいしゃ、鎮魂=ちんこん、  
復興=ふっこう、祈願=きがん、深緑=しんりょく、宣言=せんげん、慕う=したう、  
自治会=じちかい、主催=しゅさい、被災地=ひさいち、恨んで=うらんで、  
室根西自然愛護少年団=むろねにししぜんあいごしょうねんだん、応援=おうえん、  
披露=ひろう、創作=そうさく、太鼓=たいこ、絆=きずな、魚介類=ぎょかいりい、  
栄養=えいよう、保護=ほご、生態系=せいたいけい、保全=ほぜん、  
重要性=じゅうようせい、訴えて=うったえて、過去最多=かこさいた、  
育む=はぐくむ、形成=けいせい、大漁旗=たいりょうばた、斜面=しゃめん、  
環境整備=かんきょうせいび、貢献=こうけん、真剣=しんけん、表情=ひょうじょう、  
記念=きねん、対談=たいだん、最初=さいしょ、規模=きぼ、継続=けいぞく、  
養殖=ようしょく、麓=ふもと、農産物=のうさんぶつ、振る舞い=ふるまい、  
緑り広げ=くりひろげ、住民=じゅうみん、交流=こうりゅう、延べ=のべ

1. 地図帳で室根山と気仙沼湾の位置を確認しましょう。
2. 2011年、2018年の記事の見出しの○○、2011年の記事の見出し□□に、それぞれ入る漢字2文字を書きましょう。  
○○ □□
3. 「森は海の恋人」とは、どのような意味でしょう。2011年の記事から関係する文章を抜き出しましょう。  
.....  
.....
4. 牡蠣（かき）の森を慕う会代表の島山重篤さんは東日本大震災で牡蠣の養殖いかなど仕事の道具を全て流されました。それでも「漁師らは海を恨んでいない」と言っています。どうしてだと思いますか。  
.....  
.....
5. 植樹祭には30年間で延べ約何人が参加し、約何本を植樹しましたか。  
.....  
.....
6. 「森は海の恋人」植樹祭の記事を読んだ感想を書きましょう。  
.....  
.....